

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
ルネサンス デザイン・美容専門学校	平成7年3月20日	中野 勸次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人爽青会	平成20年3月20日	理事長 中野 勸次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町134-40 (電話) 053-450-0820																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
文化・教養	専門課程(文化・教養関係)	イラストレーション科	平成30年文部科学省認定	-																							
学科の目的	イラスト制作会社や現役イラストレーター・漫画家との合同授業により、多彩な表現力とオリジナリティー溢れる発想力を身に付け、想いをカタチに出来るイラストレーター・漫画家の育成																										
認定年月日	平成31年3月15日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
3年	昼間	3340	446	0	2894	0	0																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
120人	76人	0人	4人	9人	13人																						
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ・ABCD評価 ・マトリクス評価																							
長期休み	■学年始:4月6日 ■夏季:7月28日～8月20日 ■冬季:12月24日～1月4日 ■学年末:3月9日		卒業・進級条件	卒業制作合格 成績評価が全てC以上 年間要出席日数の80%以上出席																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・入学前課題の実施(入学半年前より) ・保護者との連携 ・補習の実施		課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 インターン実習・海外授業 他 ■サークル活動: 有																							
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) ゲーム制作会社、印刷会社、広告・看板製作会社 等 ■就職指導内容 ・インターンシップに向けた業界研究指導 ・就職課・担任との就職面談の実施 ■卒業生数 : 26 人 ■就職希望者数 : 26 人 ■就職者数 : 26 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 無し (令和元年度卒業生に関する平成32年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カラーデザイン検定3級</td> <td>③</td> <td>25人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>Photoshop®クリエイター能力認定試験</td> <td>③</td> <td>21人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>Illustrator®クリエイター能力認定試験</td> <td>③</td> <td>21人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>ビジネス著作権検定</td> <td>③</td> <td>21人</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	カラーデザイン検定3級	③	25人	24人	Photoshop®クリエイター能力認定試験	③	21人	20人	Illustrator®クリエイター能力認定試験	③	21人	14人	ビジネス著作権検定	③	21人	21人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
カラーデザイン検定3級	③	25人	24人																								
Photoshop®クリエイター能力認定試験	③	21人	20人																								
Illustrator®クリエイター能力認定試験	③	21人	14人																								
ビジネス著作権検定	③	21人	21人																								
中途退学の現状	■中途退学者 平成31年4月1日時点において、在学者73名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者69名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 学校生活への不適合、経済的問題 ■中退防止・中退者支援のための取組 厳正な入学選考、学生・保護者との担任面談、カウンセリングルーム設置		4名	■中退率	6%																						
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 ・特待生制度(選考結果に基づき授業料最大全額免除) ・通学支援制度(交通費または下宿費の一部支給:最大18万円) ・RADデザイングランプリ入賞者優遇制度(受賞作品の完成度によって入学金の一部最大10万円免除) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																										
当該学科のホームページURL	https://www.rad.ac.jp/illustration/																										

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「日本人ならではの徳性・新旧の美意識に学び、日本流・新デザインを世界に問う」ことの出来る人材を育成する。
- ・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、現場主義に基づいた表現力と最新の技術教育を行う。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会はルネサンス デザイン・美容専門学校 教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
中野 勘次郎	ルネサンス デザイン・美容専門学校 学校長	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
中野 良太	ルネサンス デザイン・美容専門学校 副本部長	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
前田 健一	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部長	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
大城 陽功	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
杉浦 英樹	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
岩田 俊太郎	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
酒田 祥二郎	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
中野 優	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
山本 敬子	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
一本木 蛮	公益社団法人日本漫画家協会 理事	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	①
大口 達也	株式会社Cygames デザイナー部インタラクティブデザイナーチーム マネージャー	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
平工 欽悟	ソルトライブ株式会社 ゲーム開発総合事業部部長 人事採用兼任	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
清水 薫樹	サン電子株式会社 ナイトメア・プロジェクト 部長/プロジェクトリーダー	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和元年7月16日 13:30～17:00

第2回 令和元年11月12日 13:30～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

企業ではチームで仕事をするが、現状のイラストレーション科では個人制作が授業の大半を占めている。グループワークを通じて、他者と関わりながら制作すること、複数のアイデアの繋げ方、納期意識といったものを養わせる授業の導入はどうかとの意見をもとに、「商品開発(GW)」の授業を新設。加えて、実際の現場では、実制作に加え、会議の場などで企画やアイデアの練りこみも求められるが、これをトレーニングする授業がないことへの指摘に対し「企画制作演習」を新設。また、より客観性をもって、作品を研究・分析できる力を養うべく相互講評の重要性を指摘をいただき、複数の授業で実施をすることとした。検討事項として、イラスト・マンガの3D導入を視野に入れ、人員の確保やソフトの使用など、授業への落とし込みを進めている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実際にイラストを活用した商品開発や広告制作を行っている企業を選定し連携する。学生が学んでいるイラスト制作能力がデザイン業界で活かす手段・方法を具体的に学ぶことが出来る授業を依頼する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

イラストを用いた広告制作・キャラクター開発などを行っている企業より、イラストのタッチ・画材などによる表現バリエーションが、実際のデザイン制作でどの様に活かされているのかを学ぶ。また自身のイラスト表現がデザイン業界のどの分野で活かせるのかを企業と連携して探り、ゲーム・広告・キャラクターなどそれぞれの業界をターゲットにしたポートフォリオ制作などを行う。評価は実際に採用を行う側の目線から行い、(1)企画力 (2)造形力 (3)オペレーション力 (4)ビジュアルコミュニケーション (5)商品力の観点で評価をして頂く。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
デジタルイラスト応用	CLIP STUDIO PAINTやPhotoshopを用い、キャラクターを引き立てるための表現方法や仕上げの技術を学び、完成品のクオリティ向上を実現します。	ピクシブ株式会社
ポートフォリオ編集	卒業後の活動も見据え、作品を含めた自分自身の発信方法を学び、就職活動や持ち込み活動に活かします。	有限会社キーウエストクリエイティブ

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記  
 就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「日本のマンガ・アニメ文化を世界に発信するために」(連携企業等:公益財団法人 国際親善協会)  
 期間:2019年11月26日(火) 対象:イラストレーション科職員2名  
 内容:国際親善協会が主催するギリシャ・アテネでのイベント「Japan Week」に、協会との共同企画により出展者として参加。缶バッジ・似顔絵制作などの頒布活動を学生に指導・運営をさせる中で、イラストレーションを活かした作品や日本のマンガ・アニメ文化が海外(ギリシャ)において、尊敬され、強い憧れを持たれている事実を経験することが出来た。帰国以降、学生達に、自分たちが関わる日本のイラスト・マンガ文化に自信をもって取り組むこと、就職後を見据え、国際感覚を持った作り手となるよう指導している。

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「指導者研修会」(連携企業等:浜松ビジネススクール 小山由稀 様)  
 期間:2020年3月2日(月)～4月2日(木) 対象:教員歴5年未満の常勤職員  
 内容:学生との関わり方、主体性を引き出すコミュニケーションについて学び、クラス運営に生かす研修。

#### (3) 研修等の計画

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「日本のマンガ・アニメ文化を世界に発信するために」(連携企業等:公益財団法人 国際親善協会)  
 期間:2020年11月末 対象:イラストレーション科職員1～2名  
 内容:国際親善協会が主催するスペイン・セビリアでのイベント「Japan Week」に、協会との共同企画により出展者として参加。缶バッジ・似顔絵制作などの頒布活動を通じて、イラストレーションを活かした作品や日本のマンガ・アニメ文化が海外(スペイン)においてどの様に受け入れられているのかを研究。今後学生達に日本文化世界に関わる指導へと活かしていく。

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「新任教員研修」(連携企業等:一般財団法人職業教育・キャリア教育財団)  
 期間:2020年7月末 他 対象:イラストレーション科担当の常勤教職員1名  
 内容:新任教職員に対して、以下の研修を予定している。①専門学校の社会的な役割や本校の教育理念、②学生に対する授業方法、③模擬授業を通じた指導力の向上、④クラス運営における学生のカウンセリングや就職指導方法論、など。

※コロナウイルス感染拡大防止を受け、研修内容・時期含め再検討中

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	(11) 国際交流(必要に応じて)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

評価結果を学校長に報告の上、教務統括部長が中心となりプロジェクトチームを組んで改善を図り、次回学校関係者評価委員会にて報告している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
鳥居春仁	常葉大学浜松基礎教育センター長／元浜松北高校校長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	教育専門家
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事／日本動物医療センター院長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	業界・団体委員
安武伸朗	常葉大学造形学部長／キャリアセンター長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	教育専門家
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	企業等の委員
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 業務執行理事	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	業界・団体委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:<https://www.rad.ac.jp/souseikai/index.html>

公表時期: 令和2年3月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
(2) 各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3) 教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ(公式WEBサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9) 学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10) 国際連携の状況	—
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

( 公式WEBサイト ・ 学校案内パンフレットの配布 ・ 説明会での説明 )

URL:<https://www.rad.ac.jp/document/>

授業科目等の概要

(専門課程(文化・教養関係)イラストレーション科) 令和2年度															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		清掃と挨拶 I	校訓である「明るいあいさつ、人より早く」「使う前よりきれいな、トイレ清掃」や、日頃の清掃・整理整頓を實踐し、社会で真に役立てる人材・自ら問題解決が出来る人材となることを目指します。	1	28			○	○			○		
2	○		キャリア研究・LHR I	キャリア研究では、5年後10年後の目標に向けた職業計画や、自分自身の過去を振り返っての自己分析を行います。また学んだことを活かす職種や業界の研究を行い、就職活動に活かします。LHRでは学校行事やクラス内イベントの準備、スケジュールや連絡事項の確認を行います。	1	56		○			○		○		
3	○		ルネサンス・メソッド	学生自身の「ジブン価値」を発見・向上（UP）させ、自立・自活した「卒業後に真に役立つ人材、自ら問題解決が出来る人材」へと成長するために、「社会人力」と「人格を高める」カリキュラム。「本校の使命」に明示された心得や良き習慣を、双方向体験学習・映像・学外見学などの多様な教育手法を用いて学びます。	1	22		○			○		○		
4	○		ビジネストレーニング I	ビジネスマナーやビジネス文書、メール連絡など社会人として必要となる常識を身に付け、インターンシップを始めとした就職活動の準備を行います。	1	34		○			○		○		
5	○		色彩論	色相・明度・彩度・トーン・配色といった色彩に関する基礎理論を学び、カラーデザイン検定3級合格を目指します。世界標準のカラーシステム「PANTONE」を基準に、実践的に学びます。ここで得た知識は、あらゆるイラスト・デザイン制作に応用していきます。	1	22		○			○		○		
6	○		美術・デザイン史	絵画・彫刻・建築・服飾などの各分野における近現代の美術・デザインの作品や思想を学ぶことで、普遍的な価値観や現代デザインの方向性、審美眼を磨きます。	1	22		○			○		○		
7	○		デッサン	観察力を養い、物の陰影を面で捉え、立体的に描画するための技術や、正確に形や構図をとる技術を学びます。静物を中心に徹底的にデッサンを行い、イラストレーション制作における基礎を身に付けます。	1	88					○		○	○	
8	○		デジタルイラスト I	主にCLIP STUDIO PAINT、Photoshopの基本的な使い方を習得する授業です。各ソフトを用い、デジタルイラストを描く上で、最低限必要な表現技法、技術、知識を学びます。	1	88					○		○	○	
9	○		キャラクターデッサン I	クロッキーをベースとして、全体を見る力を養い、人体やキャラクターをバランスよく描くための基本的なルールや技術を学び、イラストに適したキャラクター描画の基礎を身につけます。	1	88					○		○	○	
10	○		DTP I	Illustrator、Photoshopのアプリケーションソフトの使い方を学ぶことで、あらゆるデザイン業務に必要なMacを用いたDTPの技術を初歩から習得します。また、名刺やチラシ等の制作を通して印刷に関する基礎知識を身に付けます。	1	88					○		○	○	
11	○		イラストレーションゼミD	ライトノベル・ゲームキャラクター・絵本・雑誌挿画などで、今、活躍中のイラストレーターゲスト講師をお招きし、プロになるためのセルフブランディング手法や、独自の表現技法を、実例や具体的なエピソードを通して実践的に学びます。	1	88					○		○	○	

12	○		マンガ表現基礎Ⅰ	CLIP STUDIO PAINTでのデジタルマンガ作画の基礎技術を習得する授業です。機能を学ぶ過程で、ベタやトーンの効果的な使い方やモノクロのバランスについても学び、マンガだけでなくモノクロイラストの作画・仕上げの技術習得へとつなげていきます。	1	44					○	○	○						
13		○	[イラスト専攻]広告イラスト基礎	誌面やパッケージに掲載されるカットやキャラクターを意識したイラスト制作を行います。実際の仕事では、条件や注文に応じて、幅広い絵柄や画風で描くことが必要であることを理解し、そのために必要な技術や考え方について学びます。	1	44					○	○						○	
14		○	[マンガ専攻]マンガ表現基礎Ⅱ	マンガ制作における基礎技術を総合的に学べる授業です。ストーリー構成・キャラクターメイキング・作画など、プロで求められるものを基準に、1本の読み切りマンガを描きあげるために必要な技術を学べます。	1	44					○	○	○						
15	○		背景パース基礎	人物が入った背景を描くことに慣れることから始めます。その中でパースの基本ルールを理解するとともに、空間を意識出来た違和感のない背景作画の基礎を身につけます。	1	44					○	○	○						
16	○		アナログイラスト	アナログ画材（コピックや水彩絵の具、色鉛筆など）と紙の特性を知り、表現技術を学ぶ中でメッセージ力を高めるための適切な画材選択、イラスト制作を実現します。	1	44					○	○	○						
17	○		インターシップⅠ	デザイン・イラスト制作企業にて職場見学を行うことで、求められるスキルやレベル、社会人として働く上でのルールを学び、今後自分が目指していく職種や業界の研究を行います。	1	40					○		○	○					
18	○		修了制作Ⅰ	テーマに基づき総合的なデザイン・イラスト制作を行い、1年間の集大成となる作品制作を行います。これにより2年次への進級認定を受けます。	1	168					○	○	○						
19	○		自主学习Ⅰ	ルネサンスでは3年間を通じて多様な科目、多くの技術を学ぶため、1週間に1度学びを見直す自主学習の時間があります。教員も科を横断してサポートにあたります。	1	68					○	○	○						
20	○		清掃と挨拶Ⅱ	校訓である「明るいあいさつ、人より早く」「使う前よりきれいな、トイレ清掃」や、日頃の清掃・整理整頓を実践し、社会で真に役立てる人材・自ら問題解決が出来る人材となることを目指します。	2	28					○	○	○						
21	○		キャリア研究・LHRⅡ	キャリア研究では、5年後10年後の目標に向けた職業計画や、自分自身の過去を振り返っての自己分析を行います。また学んだことを活かす職種や業界の研究を行い、就職活動に活かします。LHRでは学校行事やクラス内イベントの準備、スケジュールや連絡事項の確認を行います。	2	56				○		○	○						
22	○		ビジネストレーニングⅡ	就職活動の基となる業界・企業研究や自己分析を通して、希望する企業に対してより適切な自己アピールができる力を学びます。	2	44				○		○							○
23	○		比較文化研究	海外授業で訪問する国を題材に、地理や歴史、固有の文化とデザインの関係性について研究をすることで渡航前の事前学習を行います。また日本文化や自分達の作品紹介・プレゼンを通じ、渡航先の学生との異文化交流を行うための準備を行います。	2	56				○		○	○						
24	○		著作権検定対策	著作権に関する基礎的な法の知識を学ぶことで、イラストの正しい運用方法に活かします。正しい著作権の知識により、自分のイラストが使われたり、資料を扱う際のトラブルを未然に防いだり、問題発生時の対処を適切に行うことが出来ます。	2	22				○		○	○						
25		○	[ゼミ専攻A]デッサン	観察力を養い、物の陰影を面で捉え、立体的に描画するための技術や、正確に形や構図をとる技術を学びます。静物を中心にデッサンを行い、イラストレーション制作における基礎を身に付けます。	2	88					○	○	○						
26		○	[ゼミ専攻A]装丁デザイン	1年次で修得したDTPの知識とスキルを前提に、書籍の表紙、カバー、外箱、タイトル・ページのデザイン、および材質の選択を含めて、装本を制作することを学びます。就職活動へ向けた作品の充実をはじめ、同人誌制作やグッズ制作など学外での個人的な表現活動での一助となることも想定しています。	2	88					○	○	○						



42	○		社会人トレーニング	自立した生活を送るための知識や、働く上で必要となる社会人基礎力[1「前に踏み出す力」(主体性、実行力など)、2「考えぬく力」(想像力、計画性など)、3「チームで働く力」(発進力、柔軟性、ストレスコントロール力など)]を演習を通して身に付けます。	3	44		○												
43	○		[ゼミ専攻B]Spineアニメーション	現在、SpineやLive2Dなどを採用し、キャラクターを動かしているゲームやアプリが増えており、実際の現場でも、この技術は求められています。この授業でキャラクターを動かすためのソフトを経験し、どのような作業や知識が必要か学びます。	3	88						○	○							
44	○		[ゼミ専攻B]雑貨デザイン・広告イラスト	広告・印刷・サービス業で求められる2Dイラスト&グラフィックの需要を理解し、企業から求められるイラスト技能の習得を目指します。その成果として、企業からの課題を制作し、プレゼンテーションするまでの技能を学びます。	3	88							○	○						○
45	○		[マンガ専攻]ネーム研究実習B	マンガ制作の重要な要素の1つである「シナリオ」について学ぶ授業です。オリジナルのキャラクター・場面を確実に設定し、物語の骨子を作れるように学びます。また、構成力を向上させることで、質の高い読切作品制作を可能にする能力を身につけます。	3	88							○	○						○
46	○		[イラスト専攻]デジタルイラスト応用	CLIP STUDIO PAINT や Photoshop を使い、キャラクターを引き立てるための表現方法や仕上げの技術を学び、完成品のクオリティ向上を実現します。	3	88							○	○						○
47	○		[マンガ専攻]マンガ表現応用B	より広い読者に受け入れられるマンガ表現を実現するべく、人物の表情や心理描写、情景描写など、人物と背景作画の表現技術や演出方法を学びます。この中で、作画の基礎力を高め、仕上げの完成度を上げ、マンガの質をより高めることを目指します。	3	88							○	○						○
48	○		イラスト表現応用	設定に応じた適切なキャラクターデザインを実現するための表情や動き、ポージング、服飾・小物の選び方などを実際の制作を通じて学びます。またキャラクターデザインをする上で、掘り下げや意味づけを意識した制作の重要性を理解します。	3	88							○	○						○
49	○		キャラクターデッサンⅢ	物や建物との比率を意識し、背景や空間に違和感なくキャラクターを配置し、描く技術を身に付けます。また、表現したいキャラクターを効果的にみせるレイアウトと構図についても学び、イラスト制作に活かします。	3	88							○	○						○
50			商品開発(GW)	企業での仕事を想定し、分業制でひとつの制作物を作り上げます。その中で、役割に応じた管理能力の重要性を学ぶとともに、他人の制作物に触れることで自分自身とグループで身につけなければいけない課題を見出し、解決を図ります。最終的に、グループの力で商業レベルの制作物達成を目指します。	3	88							○	○						○
51			商品開発(雑貨・パッケージ)	雑貨の市場理解やマーケティング企画手法の知識を学習し、自身が企画・制作したイラストを用いたグッズの量産化を実践します。商業用の流通経路に出品可能な製品レベルを目標に、三面図・プロダクトレンダリング・素材選択・耐久力検査などの加工技能を習得します。	3	88							○	○						○
52			展示計画	卒業制作展での作品展示に向け、来場された方に見やすく分かりやすい展示方法を研究し、実際の展示計画を考えます。	3	12							○	○						○
53			海外授業Ⅱ	海外のデザインや文化を実体験する学科別の選択授業です。渡航先での美術館・博物館など専門施設の視察、現地大学等での交換授業等、現地で専門分野の授業を経て、帰国後のレポート提出までを単位化します。3年次では、自身のデザイン・イラスト技能を活かした日本流の「提案」「問題解決」を、渡航国で実践することを目的とします。	3	56							○							○
54			インターシップⅢ	デザイン・イラスト制作企業にて職場でのデザイン実務を行うことで、求められるスキルやレベル、社会人として働く上でのルールを学び、今後自分が目指していく職種や業界の研究を行います。	3	40							○							○
55			卒業制作	3年間の集大成となる総合的な作品制作を行い、卒業認定に必要な評価を受けます。	3	256							○	○						○
56	○		自主学習Ⅲ	ルネサンスでは3年間を通じて多様な科目、多くの技術を学ぶため、1週間に1度学びを見直す自主学習の時間があります。教員も科を横断してサポートにあたります。	3	112							○	○						○

合計	56科目	3340単位時間( 単位)
----	------	---------------

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1学年の学期区分
1学期の授業期間		1期: 4/1-8/31 2期: 9/1-3/31

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																		
ルネサンス デザイン・美容専門学校	平成7年3月20日	中野 勸次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121																		
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																		
学校法人爽青会	平成20年3月20日	理事長 中野 勸次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町134-40 (電話) 053-450-0820																		
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																
文化・教養	専門課程(文化・教養関係)	広告・写真・Webデザイン科		平成30年文部科学省認定	-																
学科の目的	企業コラボレーションやインターンシップで実践力を培い、印刷やフォトスタジオ、デザイン事務所で即戦力となるグラフィックデザイナー、イラストレーター、Webデザイナー、フォトグラファーを育成する。																				
認定年月日	平成26年3月31日																				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技														
	3年 昼間							3340	470	0	2870	0	0								
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数															
120人		21人	0人	3人	9人	12人															
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ・ABCD評価 ・マトリクス評価																
長期休み	■学年始:4月6日 ■夏季:7月28日～8月20日 ■冬季:12月24日～1月4日 ■学年末:3月9日			卒業・進級条件	卒業制作合格 成績評価が全てC以上 年間要出席日数の80%以上出席																
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・入学前課題の実施(入学半年前より) ・保護者との連携 ・補習の実施			課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 インターン実習・海外授業 他 ■サークル活動: 有																
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) デザイン事務所、印刷会社、フォトスタジオ、映像制作会社 等			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カラーデザイン検定3級</td> <td>③</td> <td>10人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>Photoshop®クリエイター能力認定試験</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>Illustrator®クリエイター能力認定試験</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	カラーデザイン検定3級	③	10人	10人	Photoshop®クリエイター能力認定試験	③	12人	11人	Illustrator®クリエイター能力認定試験	③	12人	12人	<p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p> <p>■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等</p>
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																		
カラーデザイン検定3級	③	10人	10人																		
Photoshop®クリエイター能力認定試験	③	12人	11人																		
Illustrator®クリエイター能力認定試験	③	12人	12人																		
中途退学の現状	■中途退学者 1名 ■中退率 3%			平成31年4月1日時点において、在学者36名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者35名(令和2年3月31日卒業生を含む)																	
	■中途退学の主な理由 進路変更			■中退防止・中退者支援のための取組 厳正な入学選考、学生・保護者との担任面談、カウンセリングルーム設置																	
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 ・特待生制度(選考結果に基づき授業料最大全額免除) ・通学支援制度(交通費または下宿費の一部支給:最大18万円) ・RADデザイングランプリ入賞者優遇制度(受賞作品の完成度によって入学金の一部最大10万円免除) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																				
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																				
当該学科のホームページURL	https://www.rad.ac.jp/																				

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まれません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度中に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「日本人ならではの徳性・新旧の美意識に学び、日本流・新デザインを世界に問う」ことの出来る人材を育成する。
- ・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、現場主義に基づいた表現力と最新の技術教育を行う。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会はルネサンス デザイン・美容専門学校 教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
中野 勘次郎	ルネサンス デザイン・美容専門学校 学校長	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
中野 良太	ルネサンス デザイン・美容専門学校 副本部長	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
前田 健一	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部長	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
大城 陽功	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
杉浦 英樹	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
岩田 俊太郎	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
酒田 祥二郎	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
中野 優	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
山本 敬子	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
大田 尚作	神戸芸術工科大学 教授	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	②
星野 晃由	株式会社テクイジ デザイン 代表取締役	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
内藤 孝次	グラフィック アンド デザイン カプセル(有) 代表取締役	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
小林 宏紀	株式会社AKAISHI(靴製造・販売業)DMセクション マネージャー(社内デザイナー)	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(7月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和元年7月5日 13:30～17:00

第2回 令和元年11月21日 13:30～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

学生がデザイン制作を進める上でのコンセプトワークに関する強化の必要性を指摘頂いた。そこで今年度カリキュラムでは、コンペ等に向けた作品制作において、学生達に中間発表をさせる機会を増やし、それを学科職員が合同で指導・アドバイスを行う時間を設けた。これにより、デザインのコンセプト立案能力の向上を見込んでいる。

## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

### (1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

① 学生を指導する講師として以下の役割を専任教員と共有する

・「社会活動の諸問題を解決するコミュニケーションデザイナー育成」のため、クリエイティブの表現力をベースに、クライアントのニーズの聞き取り、問題の精査と解決プランの立案、コンセプト決定、実制作、プレゼンテーションを実践から学ぶ。

・常に相手の気持ちになって考え、相手に伝わる様に自分の言動を変えることを学ぶ。

② 好きな絵を描くことから、お客様の都合(納期、志向、予算、手法)に合わせたコミュニケーションツールを柔軟な発想から提案できる学生を育てる。実習においては進め方をクリエイティブ関連企業の常識に倣い、実践力を培う。

### (2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※ 授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

企業様より頂いたチラシ制作などのテーマに対して、学生がデザイン案の提出を行った。これに対して企業様より、コンセプトの修正・表現方法のブラッシュアップについてのアドバイスを頂き、学生が改善デザイン案を再提出、数名のデザイン案が実際に企業様でチラシ等に使用して頂いた。これらのやり取りをもとに、①企画力、②造形力、③オペレーション力、④ビジュアルコミュニケーション力、⑤プレゼンテーション力の観点から学習成果評価をお願いしている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
企業コラボレーション	企業や団体の活動へともに参加・体感し、問題点の抽出や解決策を提案します。具体的な成果物の開発と制作を通じて企業や団体と連携した問題解決型のデザイン制作を行います。	イオンモール浜松市野
企業コラボレーション	企業や団体の活動へともに参加・体感し、問題点の抽出や解決策を提案します。具体的な成果物の開発と制作を通じて企業や団体と連携した問題解決型のデザイン制作を行います。	(株)スクラム クリエイション
企業コラボレーション	企業や団体の活動へともに参加・体感し、問題点の抽出や解決策を提案します。具体的な成果物の開発と制作を通じて企業や団体と連携した問題解決型のデザイン制作を行います。	イオンモール浜松市野
映像Ⅱ	1年次に修得したデジタルカメラを使用しての写真撮影技術を応用し、より表現力豊かな作品制作を行います。広告写真や人物写真等、心を揺さぶる写真表現を修得します。	天竜浜名湖鉄道(株)
学科ゼミ	学内外で実施する学校主催のイベントや企業コラボレーションなどを学科3学年が合同で企画・運営することにより、ディレクション・スケジューリングなど物事を進める協働作業のノウハウを学びます。	タビオ(株)

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「広告セミナー」(連携企業等: 静岡コピーライターズクラブ)

期間: 令和1年8月31日(土) 対象: 学科常勤職員

内容: クリエイティブディレクター/コピーライターの福部明浩氏を迎えてのセミナーで、CM制作に於けるコンセプトワーク・アイデアの発想法など、映像制作におけるプランニングやノウハウを学び、映像系授業への教育力強化を図った。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「コーチングセミナー」(連携企業等: Brilliant Partner)

期間: 令和2年3月2日(月) 対象: 学科常勤職員

内容: 学生の主体性を引き出すための、質問の仕方・承認や勇気づけ・褒め方など、授業内におけるディスカッションや就職指導における学生の自主的な思考～決断をどう導いていくかのワークショップ型研修。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「Withコロナ時代に求められる教育・指導体制とは」(連携企業等: (株)進研アド)

期間: 令和2年7月30日(木) 対象: 教務責任者・学科長

内容: コロナウィルス感染拡大を受け、入学前の高校生の現状～専門学校入学後の教育・指導への影響を学ぶ研修。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「JMCA幹部塾」(連携企業等: 日本経営合理化協会)

期間: 令和2年10月20日(火)以降で合計6回開催 対象: 教務責任者

内容: 学校経営を理解し、既存事業の継続・未来をつくる実務・不足を補う実務を3つの柱として経営幹部の3大スキルを身に付ける研修。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	(11) 国際交流(必要に応じて)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

評価結果を学校長に報告の上、教務統括部長が中心となりプロジェクトチームを組んで改善を図り、次回学校関係者評価委員会にて報告している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
鳥居春仁	常葉大学浜松基礎教育センター長／元浜松北高校校長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	教育専門家
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事／日本動物医療センター院長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	業界・団体委員
安武伸朗	常葉大学造形学部長／キャリアセンター長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	教育専門家
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	企業等の委員
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 業務執行理事	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	業界・団体委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:<https://www.rad.ac.jp/souseikai/index.html>

公表時期: 令和2年3月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
(2)各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3)教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5)様々な教育活動・教育環境	授業ブログ(公式WEBサイト)
(6)学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7)学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8)学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9)学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10)国際連携の状況	—
(11)その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

( 公式WEBサイト ・ 学校案内パンフレットの配布 ・ 説明会での説明 )

URL:<https://www.rad.ac.jp/document/>

## 授業科目等の概要

(専門課程(文化・教養関係)広告・写真・Webデザイン科) 令和2年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			清掃と挨拶Ⅱ	校訓である「明るいあいさつ、人より早く」「使う前よりきれいな、トイレ清掃」や、日頃の清掃・整理整頓を実践し、社会で真に役立てる人材・自ら問題解決が出来る人材となることを目指します。	1	28			○	○			○		
2	○			キャリア研究・LHRⅡ	キャリア研究では、5年後10年後の目標に向けた職業計画や、自分自身の過去を振り返っての自己分析を行います。また学んだことを活かす職種や業界の研究を行い、就職活動に活かします。LHRでは学校行事やクラス内イベントの準備、スケジュールや連絡事項の確認を行います。	1	56			○		○		○		
3	○			ビジネストレーニングⅡ	就職活動の基となる業界・企業研究や自己分析を通して、希望する企業に対してより適切な自己アピールができる力を学びます。	1	44			○		○		○		
4	○			比較文化研究	海外授業で訪問する国を題材に、地理や歴史、固有の文化とデザインの関係性について研究をすることで渡航前の事前学習を行います。また日本文化や自分達の作品紹介・プレゼンを通じ、渡航先の学生との異文化交流を行うための準備を行います。	1	56			○		○		○		
5	○			著作権検定対策	著作権に関する基礎的な法の知識を学ぶことで、イラストの正しい運用方法に活かします。正しい著作権の知識により、自分のイラストが使われたり、資料を扱う際のトラブルを未然に防いだり、問題発生時の対処を適切に行うことが出来ます。	1	22			○		○		○		
6		○		[ゼミ専攻A] 企業コラボ	企業や団体の方を招いて、デザインの現場を実践授業の中で学びます。実践的な講義の後に、商品パッケージ、看板、企業ポスター等を企画制作からプレゼンテーションまでトータルに学んでいきます。	1	88					○		○		○
7		○		[ゼミ専攻A] 装丁・デザイン	1年次で修得したDTPの知識とスキルを前提に、書籍の表紙、カバー、外箱、タイトル・ページのデザイン、および材質の選択を含めて装本を制作することを学びます。就職活動へ向けた作品の充実をはじめ、同人誌制作やグッズ制作など学外での個人的な表現活動での一助となることも想定しています。	1	88					○		○		
8		○		APゼミ①写真(撮影)	1年次に修得したデジタルカメラ基礎からの写真撮影技術を発展・応用し、より表現力豊かな作品制作を行います。人物や風景写真、グラフィック作品のビジュアルとして広告写真など、各自の希望進路へ応じポートフォリオの充実を図ります。	1	88					○		○		
9		○		APゼミ①映像(企画・撮影)	映像企画を的確に伝える絵コンテ制作から、絵コンテのコンセプトを際立たせる映像表現制作を行います。また、コンペ応募なども取り入れながら、Webをはじめマルチメディアコンテンツとしての映像制作を行います。	1	88					○		○		
10		○		APゼミ②写真(レタッチ)	ゼミ専攻①などで撮影されたオリジナルの画像素材を用いて、テーマをより明確にするための色調調整や合成といったフォトレタッチについてAdobe Photoshopを使用して実習します。	1	88					○		○		
11		○		APゼミ②映像(編集・エフェクト)	ゼミ専攻①などで企画・撮影された映像を素材として、的確な編集や効果を加えることで使用されるメディアに応じた適切なコンテンツとして完成することを目標とします。	1	88					○		○		

12	○	APゼミ②パッケージ	制作テーマはコンペ課題などにも求め、容器の立体形状からラベルなどのグラフィック部分まで完成度を追求し制作します。また、完成パッケージ作品のモックアップ撮影まで行い、イメージとして伝える事も学びます。	1	88					○	○	○		
13	○	APゼミ②グラフィック	広告や宣伝用ツールをはじめ、エディトリアルやサイン計画といったグラフィックデザイン全般を制作の対象とします。希望職種の就職活動で求められるポートフォリオ制作のために、内容・構成を相談しながら作品の量と品質の充実を目指します。	1	88					○	○	○		
14	○	プレゼンテーションゼミ	授業の中で行われる企画段階と成果発表でのプレゼンテーションを前提に、論理的な企画立案と表現の妥当性を説明できるクリエイティブ開発を目指して制作します。制作物を説明することを習慣的とし就職活動の面談などの準備とします。	1	88					○	○	○		
15	○	WEB II	HTMLのコーディング、スマホ・PC特有の比率による見やすさに配慮したレイアウトデザイン方法、webページ特有のデータ保存形式など、webサイト制作に必要な基礎知識を学び、基本的なページ制作が出来る様になります。	1	88					○	○		○	
16	○	ポートフォリオ I	就職活動に向け、具体的な企業を想定したポートフォリオの編集・リファイン・作品の追加などを行います。	1	22					○	○	○		
17	○	クリエイター能力検定試験対策	Illustrator、Photoshopの認定試験（スタンダード）合格をめざす中で、Illustrator、Photoshopの基本機能を習得します。	1	88	○				○			○	
18	○	海外授業 I	比較文化研究と連動しながら、海外のデザインや文化を実体験する学科別の必須授業です。渡航先の美術館・博物館など専門施設の視察、写真やイラストの素材となる人々の暮らしや風景の体感、現地大学での交換授業等、現地で専門分野の授業を経て、帰国後のレポート提出までを単位化とします。2年次では、西欧のデザイン先進文化を「吸収」することを目的とします。	1	56					○		○	○	
19	○	インターンシップ II	デザイン・イラスト制作企業にて短期就業体験を行うことで、求められるスキルやレベル、社会人として働く上でのルールを学び、今後自分が目指していく職種や業界の研究を行います。	1	40					○		○	○	
20	○	修了制作 II	テーマに基づき総合的なデザイン・イラスト制作を行い、1年間の集大成となる作品制作を行います。これにより3年次への進級認定を受けます。	1	168					○	○		○	
合計				41科目	2264単位時間( 単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1 学年の学期区分	2期	
	1 学期の授業期間	1期: 4/1-8/31	2期: 9/1-3/31

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
ルネサンス デザイン・美容専門学校	平成7年3月20日	中野 勸次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人爽青会	平成20年3月20日	理事長 中野 勸次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町134-40 (電話) 053-450-0820				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	専門課程(文化・教養関係)	ブライダル・トータルビューティー科	平成29年文部科学省認定	-			
学科の目的	お客様の美を引出し、最高のステージに送り出すための美容技術や接客マナー、ブライダル知識をトータルで身に付けたブライダルプランナー・ビューティーアドバイザー・エステティシャン・ファッションアドバイザーを育成する。						
認定年月日	平成26年3月31日						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1725	356	0	1886	0	0
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	33人	0人	2人	8人	10人		
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ・ABCD評価 ・マトリクス評価			
長期休み	■学年始:4月6日 ■夏季:7月28日～8月20日 ■冬季:12月24日～1月4日 ■学年末:3月9日		卒業・進級条件	卒業制作合格 成績評価が全てC以上 年間要出席日数の80%以上出席			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・入学前課題の実施(入学半年前より) ・保護者との連携 ・補習の実施		課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 インターン実習・海外授業 他 ■サークル活動: 有			
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) 結婚式場、ネイルサロン、エステサロン 等 ■就職指導内容 ・インターンシップに向けた業界研究指導 ・就職課・担任との就職面談の実施 ■卒業生数 : 21 人 ■就職希望者数 : 21 人 ■就職者数 : 21 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 無し (令和元年度卒業生に関する平成32年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)			
				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数
				ネイリスト技能検定3級	③	14人	14人
				ジェルネイル検定初級	③	21人	18人
				メイクアップ技術検定3級	③	14人	14人
				ビューティー・コーディネーター検定3級	③	14人	13人
				メイクアップ技術検定2級	③	13人	13人
				※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			
中途退学の現状	■中途退学者 3名 平成31年4月1日時点において、在学者38名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者35名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 学校生活への不適合、経済的問題、進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 厳正な入学選考、学生・保護者との担任面談、カウンセリングルーム設置		■中退率 8%				
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 ・特待生制度(選考結果に基づき授業料最大全額免除) ・通学支援制度(交通費または下宿費の一部支給:最大18万円) ・RADデザイングランプリ入賞者優遇制度(受賞作品の完成度によって入学金の一部最大10万円免除) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)						
当該学科のホームページURL	https://www.rad.ac.jp/beauty/						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶と掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・教育課程編成委員会によって業界ニーズや産業振興の方向性を把握・分析し、必要な知識・スキルを身に付けカリキュラムを編成する。
- ・企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会はルネサンス デザイン・美容専門学校(以下「学校」という。)の教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
中野 勘次郎	ルネサンス デザイン・美容専門学校 学校長	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
中野 良太	ルネサンス デザイン・美容専門学校 副本部長	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
前田 健一	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部長	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
竹田 侑里	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
落合 拓弥	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
野村 知津日	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
阿部 恵美	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
鈴木 由美	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
林 千洋	ルネサンス デザイン・美容専門学校 事務局	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
米山 ちほ	ルネサンス デザイン・美容専門学校 事務局	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
伊達 義隆	THE ORIENTAL TERRACE(鳥善) ウェディングプランナー	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
大西 信善	株式会社フリーゾーン(Pure Nail) 代表取締役	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
田中 賢一郎	TBCグループ株式会社 人事総務部採用課	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
小林 美智子	TBCグループ株式会社 中部エリア採用担当	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
永倉 瑞恵	一般社団法人JMA 理事	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	①

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和元年7月10日 10:00～12:30

第2回 令和元年12月16日 10:00～13:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

- ・他学科との合同授業(チームでの役割を果たす)→模擬披露宴での映像選考学科(選抜者)との合同制作実施
- ・会話力を高める授業が欲しい、接客への意識低下→愛されるコミュニケーションセミナー実施(講演:株式会社 Wmcommons)
- ・キャリアプランの明確化(10年後のプランを想定した就職活動)→1年生に対しては、「キャリア研究」にてキャリアプランの設計を実施し、就職活動学生へは、企業分析の中で具体的なビジョンを明確化させる。
- ・専門性を深める事への取り組み継続→2年次3コース制の募集を開始。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学科目的である「人の魅力を極限まで引き出す」に基づき、外見・内面ともに人の美を追求し続けている企業を選定し、お客様の満足度を高め、心地よいサービスを提供するために必要な知識・技術・接客力を身に付ける授業を依頼する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

業界の求める知識水準を指導できる講師を提携企業から派遣してもらう。学内での実習を基本とし、必要に応じて外部実習を取り入れる。①主体性②実行力③課題発見力④資格目標⑤専門知識の観点で評価を依頼する。

(3) 具体的な連携の例 ※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
メイクテクニックⅡ	メイク技術の応用として、ポイントメイク・フルメイク・カウンセリングメイク・イメージメイク・ブライダルメイク・アートメイクの技術を身に付け、提案ができるよう学びます。また、メイクアップ技術検定1級取得を目指します。	ラポール
【選択】ビューティー	美容業界へ進む学生に対し、各分野のワンランクアップした応用技術として、「ジェルネイル応用技術」「リラクゼーション」「カウンセリングカ」「脱毛技術」を学び、就職先に向けた技術を習得します。	TASUKU GROUP
卒業制作	2年間の学習成果として総合的な技術試験と作品発表を行い、専門課程修了の認定を受けます。	イオンモール浜松市野
ブライダルコーディネートⅡ	ブライダルの基礎知識の応用として、オリジナルウェディングを形にできるよう、プランニング～運営、お客様サービスまでを実戦形式で学び発表します。また、「BC技能検定対策」に向けて、基礎知識の復習を行います。	株式会社 平安閣
ブライダル基礎Ⅰ	ブライダルの定義や歴史を初めとする、基本知識の習得と実際の結婚式場での見学を通し、婚礼の形式やブライダルプランナーの仕事内容を理解します。また、プランニング提案のための土台となるテクニックとマナーを「模擬挙式」を以て身に付けます。	株式会社 平安閣

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ブランディングセミナー」(連携企業等:千葉真由美 様)

期間:2019年5月8日(水)～10月7日(月) 対象:各学科長又は、中間管理職者

内容:各分野(学科)のブランド化や学科方針や理念、又は募集広報における内容の整理と位置づけをブランディングに基き研修。

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「指導者研修会」(連携企業等:浜松ビジネススクール 小山由稀 様)

期間:2020年3月2日(月)～4月2日(木) 対象:教員歴5年未満の常勤職員

内容:学生との関わり方、主体性を引き出すコミュニケーションについて学び、クラス運営に生かす研修。

#### (3) 研修等の計画

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

コロナウイルス感染拡大防止を受け、研修中止又は延期(振替日程未定)

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

コロナウイルス感染拡大防止を受け、研修中止又は延期(振替日程未定)

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	(11) 国際交流(必要に応じて)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

評価結果を学校長に報告の上、教務統括部長が中心となりプロジェクトチームを組んで改善を図り、次回学校関係者評価委員会にて報告している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
鳥居春仁	常葉大学浜松基礎教育センター長／元浜松北高校校長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	教育専門家
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事／日本動物医療センター院長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	業界・団体委員
安武伸朗	常葉大学造形学部長／キャリアセンター長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	教育専門家
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	企業等の委員
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 業務執行理事	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	業界・団体委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:<https://www.rad.ac.jp/souseikai/index.html>

公表時期: 令和2年3月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
(2) 各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3) 教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ(公式WEBサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9) 学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10) 国際連携の状況	—
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

( 公式WEBサイト ・ 学校案内パンフレットの配布 ・ 説明会での説明 )

URL:<https://www.rad.ac.jp/document/>

## 授業科目等の概要

(専門課程(文化・教養関係)ブライダル・トータルビューティー科) 令和2年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			清掃と挨拶 I	本校の行動の原点である「明るいあいさつ、人より早く」「使う前よりきれいな、トイレ清掃」や日頃の清掃・整理整頓を実践し、社会で真に役立てる人材となることを目指します。	1	30			○	○					
2	○			ルネサンス・メソッド	学生自身の「ジブン価値」を発見・向上 (UP) させ、自立・自活した「卒業後に真に役立つ人材、自ら問題解決が出来る人材」へと成長するために、「社会人力」と「人格を高める」カリキュラム。「本校の使命」に明示された心得や良き習慣を、双方向体験学習・映像・学外見学などの多様な教育手法を用いて学びます。	1	23		○		○					
3	○			LHR I	専門分野以外で社会人に必要な一般常識習得やコミュニケーション能力向上をLHR形式で習得します。また、学校行事やクラス内イベントの準備、スケジュールや連絡事項の確認も行います。	1	30		○		○					
4	○			キャリア研究 I	5年後10年後の目標に向けた職業計画や、自分自身の過去を振り返っての自己分析を行います。また学んだことを活かす職種や業界の研究を行い、就職活動に活かします。	1	30		○		○					
5	○			マナー I	挨拶、所作、身だしなみを始め、対応力を基本とした、内面的・外面的な美しさが自然に表現でき、業界の見本となる姿を実践的に作り出します。また、サービス接客実務について理解を持ち、サービスに必要な知識と技術を「サービス接客検定2級」の取得を以て身に付けます。	1	35		○		○					
6	○			心理学 I	お客様の心理や会社における人間関係の構築まで、円滑にコミュニケーションを図るためのノウハウや行動心理に隠された、応対力の向上を目指します。	1	22		○		○					
7	○			パソコンスキル	パソコンの基礎的な使い方および、プレゼンテーションにおける手法を身に付けます。また、ビジネスソフトWord、ExcelやPowerPointの使い方を学び、社会人として必要な IT スキルを身につけます。	1	22		○		○					
8	○			経営学 I	社会における「組織」についての仕組みや女性社会で円滑に渡り歩くための思考を学び、会社やサロンは、どのように成り立ち、どのように運営されているか等、「会社」における基本的な知識を身に付けます。	1	12		○		○					
9	○			ビューティ・コーディネーター検定対策	近年増え続けている、レセプション職や技術者が技術以外のサロンワークを理解すべく、ビューティー業界のビジネス検定に相当するビューティ・コーディネーター検定3級の取得を目指します。	1	24		○		○					
10	○			パーソナルカラー	色の種類や色の原理を始め、人の肌に合うパーソナルカラーを学び、業界における色彩を必要とする場面での「選ぶ力」を習得します。また、色彩技能パーソナルカラー検定取得を目指します。	1	7		○		○					
11		○		【選択】アロマ	美容五感の一つである香りの観点で「アロマセラピー」の知識や使用注意、歴史などを学び、アロマ検定の取得を目指します。また、さらに、これらの知識は様々な場面で美容やサービスをサポートしてくれます。	1	7			○	○					



27	○		心理学Ⅱ	お客様の心理や会社における人間関係の構築まで、円滑にコミュニケーションを図るためのノウハウや行動心理に隠された、応対力の向上を目指します。	2	11		○		○									
28	○		POP広告Ⅱ	POP広告作成に関する基礎的な技能をもとに、応用的実践的な実習を行い、POP広告検定の取得を目指し検定対策を進めます。	2	22		○		○									
29	○		マナーⅡ	1年次に身に付けた基礎を、より実践的且つ各分野に落とし込み、様々なお客様に対するマナーとホスピタリティを考案実行できるよう身に付けます。社会や就職活動における実践マナーも習得します。	2	22		○		○									
30	○		経営学Ⅱ	企業の仕組みや業績拡大の構造、店舗経営、経営に関わるお金の仕組み、商品開発、サロン作りに至るまで、サロン運営に必要な知識を習得し、経営目線を学びます。	2	12		○		○									
31	○		BC技能検定対策	ブライダル業界に必要な知識として、業界・サービス・婚約～婚礼・婚礼雑貨までの定義と意味を習得し、ビューティーコーディネーター技能検定（国家検定）の取得を目指します。	2	18		○		○									
32	○		ブライダルⅡ	ブライダルの基礎知識の応用として、オリジナルウェディングを形にできるよう、プランニング～運営、お客様サービスまでを実践形式で学び発表します。また、「BC技能検定対策」に向けて、基礎知識の復習を行います。	2	58				○	○								
33	○		メイクⅡ	メイク技術の応用として、ポイントメイク・フルメイク・カウンセリングメイク・イメージメイク・ブライダルメイク・アートメイクの技術を身に付け、提案ができるよう学びます。また、メイクアップ技術検定1級取得を目指します。	2	69				○	○								
34	○		ネイルⅡ	ネイル業界に必要なジェルネイル技術とネイリスト検定2級の技術（チップラップ等）を習得し、ジェルネイル検定（初級）とネイリスト検定2級を目指します。また、エンボスや3D等、様々なデザイン手法を学びデザインの幅も広がります。	2	69				○	○								
35	○		エステⅡ	ボディマッサージからフェイシャル機器の応用までの知識と技術を学び、フェイシャル・ボディの総合的な知識と技能を習得しRAD認定エステティックライセンス（アドバンス）の取得を目指します。	2	69				○	○								
36	○		ヘアー	多様なヘアデザイン構築技術を習得し、TPO・衣装に合ったヘアアレンジやブライダルヘアの提案・構築、カウンセリング方法、ヘアセットチェンジ術まで応用技術を習得します。	2	69				○	○								
37	○		インナービューティーⅡ	身体と心と精神の「健康美」を目指します。美の根源となる「心」と「体内」を育み、健康に生活するための習慣をベルヴィスの精神をもとに身に付けます。	2	22				○	○								
38	○		着付けⅡ	就職先で即戦力になる着付けアシスタントの技術習得や1年次の復習（浴衣自装・他装の着付け）着物、袴、羽織、長襦袢、留袖、打掛、振袖のたたみ方や振袖着付けの習得を目指します。	2	46				○	○								
39	○		ファッション	1年次に学んだコーディネート基礎やフォーマルウェアなど活かし、お客様をより魅力的に魅せるコーディネートテクニックを学びます。また、花嫁のトータルコーディネート提案も習得します。	2	12				○	○								
40	○		サロンワークⅡ	ビューティー業界全般のサロン計画・運営を行う。予約業務から当日の施術、施術後のアフターフォローに関する知識を習得し、卒業後即戦力としてサロンで活躍できる実践力を身に付けます。	2	36				○	○								
41	○		【選択】ビューティー	美容業界へ進む学生に対し、各分野のワンランクアップした応用技術として、「ジェルネイル応用技術」「リラクゼーション」「カウンセリング力」「脱毛技術」を学び、就職先に向けた技術を習得します。	2	24				○	○								



合計	45科目	1718単位時間( 単位)
----	------	---------------

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1学年の学期区分
1学期の授業期間		1期: 4/1-8/31 2期: 9/1-3/31

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
ルネサンス デザイン・美容専門学校	平成7年3月20日	中野 勸次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人爽青会	平成20年3月20日	理事長 中野 勸次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町134-40 (電話) 053-450-0820				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士			
衛生	専門課程(衛生関係)	美容師科	平成30年文部科学省 認定	-			
学科の目的	美容師国家資格取得を通して、お客様と自分自身の美容ライフが豊かになるための技術・知識・サービスを考えられる美容師の育成						
認定年月日	平成31年3月15日						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2	昼間	2092	686	0	2166	0	0
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	23人	0人	3人	11人	14人		
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ・ABCD評価 ・マトリクス評価			
長期休み	■学年始:4月6日 ■夏季:7月28日～8月20日 ■冬季:12月24日～1月4日 ■学年末:3月9日		卒業・進級 条件	卒業制作合格 成績評価が全てC以上 年間要出席日数の80%以上出席			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・入学前課題の実施(入学半年前より) ・保護者との連携 ・補習の実施		課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 インターン実習・海外授業 他 ■サークル活動: 有			
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) 美容室 ■就職指導内容 ・インターンシップに向けた業界研究指導 ・就職課・担任との就職面談の実施 ■卒業生数 : 10 人 ■就職希望者数 : 10 人 ■就職者数 : 10 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 無し (令和 元 年度卒業生に関する 平成32年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報) 資格・検定名 種別 受験者数 合格者数 ネイリスト技能検定3級 ③ 9人 9人 シユウウエムラメイクアップ 技術検定 ③ 9人 9人 まつ毛エクステンション 検定 ③ 10人 10人 美容師国家試験 ② 10人 10人 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③の いずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得する もの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			
中途退学 の現状	■中途退学者 0名 平成31年4月1日時点において、在学者20名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者20名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 0 ■中退防止・中退者支援のための取組 厳正な入学選考、学生・保護者との担任面談、カウンセリングルーム設置		■中退率 0%				
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 ・特待生制度(選考結果に基づき授業料最大全額免除) ・通学支援制度(交通費または下宿費の一部支給:最大18万円) ・RADデザイングランプリ入賞者優遇制度(受賞作品の完成度によって入学金の一部最大10万円免除) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載						
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)						
当該学科の ホームページ URL	https://www.rad.ac.jp/hair/						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶と掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・教育課程編成委員会によって業界ニーズや産業振興の方向性を把握・分析し、必要な知識・スキルを身に付けカリキュラムを編成する。
- ・企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会はルネサンス デザイン・美容専門学校(以下「学校」という。)の教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
中野 勘次郎	ルネサンス デザイン・美容専門学校 学校長	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
中野 良太	ルネサンス デザイン・美容専門学校 副本部長	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
前田 健一	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部長	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
竹田 侑里	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
落合 拓弥	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
野村 知津日	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
阿部 恵美	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
鈴木 由美	ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
林 千洋	ルネサンス デザイン・美容専門学校 事務局	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
米山 ちほ	ルネサンス デザイン・美容専門学校 事務局	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
大瀧 峰彦	株式会社 田谷 人事課次長	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
井上 雅人	有限会社 CLEAR group サロンマネージャー	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
疋田 和也	株式会社 Ripple 代表	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
玉井 宣浩	有限会社 PSC東海理美容事業共同組合 代表理事	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
山村 絵理	有限会社 MSLASHホールディングス 取締役	令和元年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和元年7月1日 10:00～12:30

第2回 令和元年12月11日 9:45～12:45

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

- ・国家試験と現場実務の両立カリキュラムの良さ→継続。また、連携企業の新規化を図り幅広い理解を目指す。
- ・現場でのコミュニケーションの使い分けが課題視されている。→接客時に意識するコミュニケーションセミナー実施(講演:株式会社 Wmcommons)
- ・インターンシップや現場での実習をより有効的に実施するためには、土日のどちらかに来店してもらい、忙しい中での業務をリアルに理解させるべきである。→全員、Ashc様の各店舗へ訪問し、土曜日に現場での実習を実施。評価を頂いた。
- ・近年新卒者のメンタル低下が気になる。学生時代にメンタルコントロールについて学びがあると良い。→就職前の2年生に対して、自分を見つめ直す、メンタルコントロールについて集中的に考える研修を企画中。研修予定地:保健健康農園ホテルフフ山梨

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学科目的である「人の魅力を極限まで引き出す」に基づき、外見・内面ともに人の美を追求し続けている企業を選定し、お客様の満足度を高め、心地よいサービスを提供するために必要な知識・技術を身に付ける授業を依頼する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

業界の求める知識水準を指導できる講師を提携企業から派遣してもらおう。学内での実習を基本とし、必要に応じて外部実習を取り入れる。①主体性②実行力③課題発見力④資格目標⑤専門知識の観点で評価を依頼する。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
衛生管理Ⅰ	感染症、環境衛生、衛生管理技法などを学び、美容における衛生措置の重要性について理解します。また、美容器具などの消毒法の適正な実施方法を身に付けます。	株式会社杏林堂薬局
衛生管理Ⅱ	美容師が公衆衛生について重大な責務を担う理由や、衛生措置の重要性を理解し、美容業務の重要な技術である消毒法の適正な実施方法を身に付けます。また、美容師国家資格試験筆記対策も行い免許取得を目指します。	株式会社杏林堂薬局
選択必修Ⅱ	美容師になるために必要な、ビジネス知識やキャリアビジョンの構築。又は、特別ゲストをお招きしての技術向上や就職活動での情報収集を行い、美容師としての「これから」をフォローアップしていきます。	有限会社ASHC
選択必修Ⅰ	美容師になるために必要な、ビジネス知識やキャリアビジョンの構築。又は、特別ゲストをお招きしての技術向上や就職活動での情報収集を行い、美容師としての「これから」をフォローアップしていきます。	株式会社アッシュ
選択必修Ⅰ	美容師になるために必要な、ビジネス知識やキャリアビジョンの構築。又は、特別ゲストをお招きしての技術向上や就職活動での情報収集を行い、美容師としての「これから」をフォローアップしていきます。	株式会社 Wmcommons

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針  
 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記  
 就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「美容師技術力向上研修」(連携企業等: ASCH HAIR SPIRIT)  
 期間: 2019年5月20日(月) 対象: 本校美容師職員  
 内容: 美容師としての本来の技術を向上すべく、最新の美容技術を学び授業へ落とし込む。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「東海地区教職員研修会」(連携企業等: 東海地区理容美容学校協議会)  
 期間: 2019年10月18日(金)～10月19日(土) 対象: 東海地区理容美容学校教員  
 内容: 美容業界において学校教員が授業力向上に加え、業界トレンドや周辺業界の現状を把握する。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

コロナウイルス感染拡大防止を受け、研修中止又は延期(振替日程未定)

② 指導力の修得・向上のための研修等

コロナウイルス感染拡大防止を受け、研修中止又は延期(振替日程未定)

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	(11) 国際交流(必要に応じて)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

評価結果を学校長に報告の上、教務統括部長が中心となりプロジェクトチームを組んで改善を図り、次回学校関係者評価委員会にて報告している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
鳥居春仁	常葉大学浜松基礎教育センター長／元浜松北高校校長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	教育専門家
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事／日本動物医療センター院長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	業界・団体委員
安武伸朗	常葉大学造形学部長／キャリアセンター長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	教育専門家
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	企業等の委員
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 業務執行理事	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	業界・団体委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:<https://www.rad.ac.jp/souseikai/index.html>

公表時期: 令和2年3月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
(2) 各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3) 教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ(公式WEBサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9) 学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10) 国際連携の状況	—
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

( 公式WEBサイト ・ 学校案内パンフレットの配布 ・ 説明会での説明 )

URL:<https://www.rad.ac.jp/document/>

## 授業科目等の概要

(専門課程(衛生関係)美容師科) 令和2年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
1	○		美容実習 I	美容師国家試験の実技課題となる「カット」「ワインディング」「オールウェーブ」の3課題を学びます。基礎となる理論を十分に理解した上で、用具の使い方・構造・時間を測りながらの手先の動きを徹底して習得し、国家試験合格レベルの70%到達を目指します。	1	360			○	○						
2	○		美容技術理論 I	美容用具の種類と特徴、正しい取扱いの方法、美容技術を行う際の姿勢、ヘアシャンプーなどの頭部施術、美容師として必要な基本的な技術の理論を学びます。	1	99		○			○					
3	○		美容保健 I	美容技術の基礎となる人体組織、特に皮膚および毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、系統的な知識を習得します。また、皮膚疾患の種類や原因、症状について学び美容の施術との関連を学びます。	1	66		○			○					
4	○		衛生管理 I	感染症、環境衛生、衛生管理技術などを学び、美容における衛生措置の重要性について理解します。また、美容器具などの消毒法の適正な実施方法を身に付けます。	1	66		○			○					
5	○		香粧品科学 I	美容に深く関わっている香粧品の性状や使い分け、安全性などについて学び、公衆衛生に資する美容師として必要な知識を身に付けます。	1	45		○			○					
6	○		文化論 I	美容文化史・美容デザイン・服飾などを学び、豊かな感性と美的感覚を身に付け、優れた表現力と鑑賞力を養います。	1	44		○			○					
7	○		関係法規・制度 I	美容の業務に関する規定内容を正確に理解し、公衆衛生を担う美容師の社会的責務、職業倫理について自覚を促します。	1	22		○			○					
8		○	選択必修 I (ネイル)	ベーシックな爪のお手入れから、ネイル用品の扱い、爪に関する知識(構造・衛生管理・病気等)、塗り方など基本技術を身に付け、日本ネイリスト技能検定3級検定取得を目指します。	1	69				○	○					
9		○	選択必修 I (シャンプーブロー)	シャンプーの目的や理論を十分に理解し、すべての美容技術の基礎となるシャンプーの技術・知識を身に付けます。また、ブロースタイリングの目的や理論を十分に理解し、ドライヤーと様々な種類のブラシを用いた基本的なブロースタイリング技術を習得します。	1	33				○	○					
10		○	選択必修 I (セット)	アップウィッグを使用しての反復練習を通し、基本的な道具の使い方・髪の扱い方、まとめ髪の基本である夜会巻からアレンジヘアなどのヘアセット術を習得します。	1	36				○	○					
11		○	選択必修 I (メイク)	メイク用品の扱い、スキンケア、ベース作りを中心に、ポイントメイクの基礎、自分に似合うメイクを身に付け、シェウウエムラメイクアップ技術検定の習得を目指し、技術と知識を習得します。	1	36				○	○					

12	○	選択必修Ⅰ (パーソナルカラー)	色の種類や色の原理を始め、人の肌に合うパーソナルカラーを学び、業界における色彩を必要とする場面での「選ぶ力」を習得します。また、色彩技能パーソナルカラー検定取得を目指します。	1	20					○	○							
13	○	選択必修Ⅰ (カラー)	ヘアカラーの種類、特徴と注意点を十分に理解し、白髪染やファッションカラーなどの基本的な技術と染毛のメカニズムなどの基本的な知識を身に付けます。	1	30					○	○							
14	○	選択必修Ⅰ (着付け)	現場で求められる、着物や浴衣の準備・片づけを初めとし、浴衣の自装・他装、着物の他装を実践を通し技術を習得し、現場における着付けワークとアシスタント業務のノウハウを身に付けます。	1	20					○	○							
15	○	選択必修Ⅰ(L HR・研修・特別授業等)	美容師になるために必要な、ビジネス知識やキャリアビジョンの構築。又は、特別ゲストをお招きしての技術向上や就職活動での情報収集を行い、美容師としての「これから」をフォローアップしていきます。	1	157					○	○							
16	○	美容実習Ⅱ	公衆衛生向上の意識や美容器具の消毒についての重要性を十分に認識させ、1年次に習得した基本テクニックの反復練習を行い、技術力を的確に蓄積していきます。段階的に時間を計りながら、スピードや技術の正確性を習得し、国家試験合格のための技術力を高めます。	2	589					○	○							
17	○	美容実習Ⅱ(大会対策・応用技術)	美容師における基本技術の正確な仕上がりと応用技術の理解を図り、各種大会やコンテストでの入賞に向けたトレーニングを行います。そして、就職後にスタイリストの技術を理解した上で業務に臨むことができるようフォローアップしていきます。	2	46					○	○							
18	○	美容実習Ⅱ(まつ毛エクステーション)	美容師技術の1つである「まつ毛エクステーション」の技術と知識を身に付け、美容師技術の幅を広げます。また、まつ毛エクステの検定取得を目指します。	2	46					○	○							
19	○	美容技術理論Ⅱ	美容師国家試験(筆記)出題科目 美容に関する基礎技術の知識をもとに、頭部技術・特殊技術・和装技術など、美容実習に基づく美容業に必要な知識を身に付け、国家試験合格を目指します。	2	52			○			○							
20	○	美容保健Ⅱ	美容師国家試験(筆記)出題科目。美容技術の基礎となる人体組織、特に皮膚および毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、系統的な知識を習得します。また、皮膚疾患の種類や原因、症状について学び美容の施術との関連を学び、国家試験取得を合格します。	2	40			○			○							
21	○	衛生管理Ⅱ	美容師国家試験(筆記)出題科目 感染症、環境衛生、衛生管理技術などを学び、美容における衛生措置の重要性について理解します。また、美容器具などの消毒法の適正な実施方法を身に付け国家試験取得を合格します。	2	42			○			○							
22	○	化粧品化学Ⅱ	美容師国家試験(筆記)出題科目 美容に深く関わっている化粧品の性状や使い分け、安全性などについて学び、公衆衛生に資する美容師として必要な知識を身に付けます。また、美容師国家試験筆記対策も行い、国家試験合格を目指します。	2	12			○			○							
23	○	文化論Ⅱ	美容師国家試験(筆記)出題科目 美容文化史・美容デザイン・服飾などを学び、豊かな感性と美的感覚を身に付け、優れた表現力と鑑賞力を養います。また、美容師国家試験(筆記)合格に向け、対策内容を実施し、国家試験合格を目指します。	2	16			○			○							
24	○	関係法規・制度Ⅱ	美容師国家試験(筆記)出題科目 美容の業務に関する規定内容を正確に理解し、公衆衛生を担う美容師の社会的責務、職業倫理について自覚を促します。また、美容師国家試験筆記対策も行い免許取得を目指します。	2	3			○			○							
25	○	運営管理	美容師国家試験(筆記)出題科目。美容業において適切な接客態度がいかに重要であるかを自覚し、お客様対応の基本を学びます。また、経営管理手法を学び、美容所の経営に役立つ知識を身に付けます。また、美容師国家試験筆記対策も行い免許取得を目指します。	2	31			○			○							
26	○	選択必修Ⅱ(アシスタントワーク)	美容サロンでのアシスタント業務におけるノウハウを学び、美意識の高いお客様に対し心地よい接客が出来るようトレーニングします。また、スタイリストがより良い環境で仕事出来るようアシストの基礎を身に付けます。	2	22					○	○							

27	○	選択必修Ⅱ（エステⅡ）	エステティックの基礎知識とフェイシャルケアの基礎技術を学び、美容室のトータルビューティサロン化に対応できる知識と技術を習得します。	2	22						○	○						
28	○	選択必修Ⅱ（作品制作）	美容師としてのアーティスティックな創造力を高めるべく、普段スタイルではないクリエイティブなヘアスタイルを作り上げる技術と手法を身に付けます。	2	22						○	○						
29	○	選択必修Ⅱ（ジェルネイル）	美容業界で必要なジェルネイル技術を習得し、ジェルネイル検定（初級）取得を目指します。また、ジェルネイルにおける基本的なデザイン手法を学び、デザインの幅を広げます。	2	22						○	○						
30	○	選択必修Ⅱ（ヘアケアマイスター）	お客様の毛髪診断が正しくできそれに対する処置・アドバイスが的確にできるよう、「毛髪化学」「毛髪のカウンセリング」「ヘアケア剤」を学び、ヘアケアマイスター（プライマリーコース）の取得を目指します。	2	11						○	○						
31	○	選択必修Ⅱ（着付けⅡ）	国家試験対策を念頭に置き、和装と着付けの理論全般を学びます。また、現場における着付け業務の復習を行い実技からの知識習得も図ります。	2	11						○	○						
32	○	選択必修Ⅱ（メイクⅡ）	メイク技術の応用として、ポイントメイク・フルメイク・カウンセリングメイク・イメージメイクの技術を身に付けお客様へ提案が出来るよう学びます。また、メイクアップ技術検定1級取得を目指します。	2	24						○	○						
33	○	選択必修Ⅱ（ブライダルヘアメイク）	美容師がブライダル業界で必要とされる、ブライダルヘアメイクの技術を学び、新郎新婦様・ご親族様用のヘアメイクやお色直しができるようスタイルのイメージと技術を習得します。	2	24						○	○						
34	○	選択必修Ⅱ（LHR・研修・国試対策等）	美容師になるために必要な、ビジネス知識やキャリアビジョンの構築。又は、特別ゲストをお招きしての技術向上や就職活動での情報収集を行い、美容師としての「これから」をフォローアップしていきます。	2	144						○	○						
35	○	選択必修Ⅱ（比較文化研究・海外授業）	海外授業で訪問する国を題材に、固有の歴史・文化と美容の関係性について研究し、世界に向けて何を発信すべきかを探ります。その後、現地で専門分野の授業を経て帰国後のレポート提出までを単位化とします。	2	47						○	○	○					
56																		
合計				35科目	2215単位時間(										単位)			

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1 学年の学期区分	2期	
	1 学期の授業期間	1期：4/1-8/31	2期：9/1-3/31

（留意事項）

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。